

移住・定住促進事業

予算額 44,377千円 (R5 49,922千円)

1 事業の目的・概要

テレワークや兼業・副業といった新しい働き方が浸透し、二地域居住など新しいライフスタイルへの関心が高まる中、二地域居住を含めた移住・定住を促進するため、県内各市町村の移住関連情報等を一元的に発信するポータルサイトの運営やインフルエンサーによるSNSでの情報発信、都内での本県専任の移住相談員の配置などを実施します。

2 主な事業内容

(1) 移住に係るポータルサイトの運営 15,277千円

県内各市町村の移住関連情報や新しい働き方に関する情報などを総合的に掲載し、移住希望者が求める情報をワンストップで発信します。

(2) 二地域居住SNS発信事業 6,000千円

インフルエンサーが実際に二地域居住を体験し、その様子や感想をSNSで発信することで、移住検討者に地域の暮らしぶりや魅力を体感してもらいます。

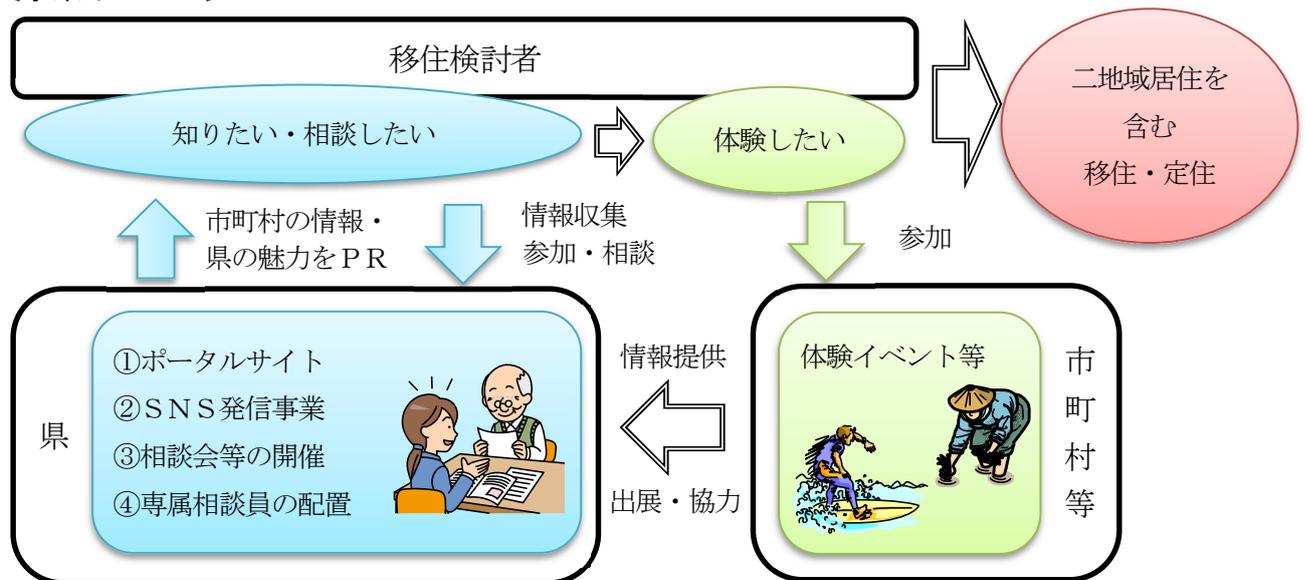
(3) 移住に関する相談会やイベント等の開催 7,357千円

市町村等と連携した合同移住相談会を都内で開催します。また、移住・二地域居住に関連する取組について、地域やテーマ毎のセミナーやイベント等を実施します。

(4) 専属相談員の配置 9,100千円

ふるさと回帰支援センターに千葉県専属の相談員を配置します。

[事業イメージ]



担当課・問い合わせ先
総合企画部地域づくり課
043-223-2232

副業人材マッチング支援事業

予算額 18,600千円 (R5 13,000千円)

1 事業の目的・概要

副業という新しい働き方の普及は、地域の担い手を確保できる可能性が広がるほか、本県への移住促進や関係人口の創出に繋がることが期待されます。

このため、少子高齢化や人口減少が進む県内の各地域において、地域活性化や関係人口の増加を図るため、地域企業等と豊富な知識・経験等を有する副業人材をマッチングし、地域の課題解決に資する企業等の取組を支援します。

2 事業内容

人材サービス会社が運営する「副業人材プラットフォーム」を活用し、県内各地域の金融機関、商工会などと連携して、地域企業等と副業人材をマッチングします。

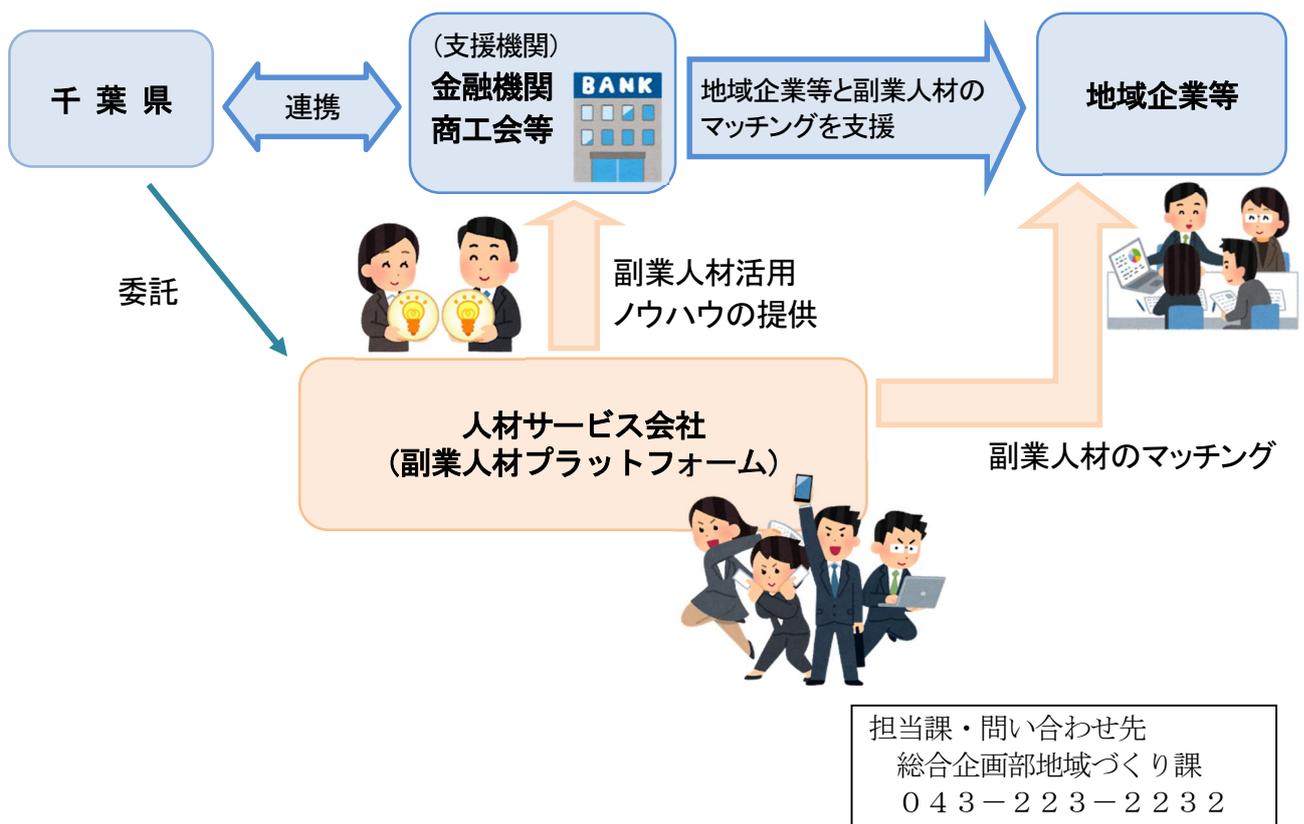
(1) 対象地域

県内7地域（香取、海匠、山武、長生、夷隅、安房、君津）

(2) 対象となる取組

- ・ 関係人口、二地域居住者、移住・定住の増加に資する取組
- ・ 地域を代表する物産の開発・生産など、地域のブランド形成に資する取組 等

[事業イメージ]



千葉の海の魅力発信事業

予算額 180,000千円 (R5 175,100千円)

1 事業の目的・概要

三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を活かし、千葉県の海の魅力を県内外に広く発信します。令和6年度は、県民の日中央行事を九十九里浜と勝浦市で実施し、海の魅力発信を一層推進します。

2 事業内容

(1) 「千葉の海・大使」等を活用した魅力発信 18,000千円

統一感のある魅力発信を一層推進するため、「千葉の海・大使」を活用するほか、本県の海の魅力を PR するブランドデザイン及びシンボルカラーを使って、千葉の海の魅力を県内外に広く発信します。

- 「千葉の海・大使」を活用したイベント等の開催
- 千葉の海ブランドデザインの普及
- 海の大使やブランドデザインを活用した情報発信



(2) 「県民の日」中央行事 60,000千円

県民の日中央行事を、千葉県誕生 150 周年記念事業のフィナーレイベントとして九十九里浜と勝浦市の2日間にわたって実施します。

[九十九里浜] 千葉の豊かな自然環境を県内外に発信するとともに、未来につなぐメッセージとするため、ビーチクリーン・手をつなぐイベントを開催します。

[勝浦市] 千葉県の海の魅力を伝えるため、勝浦市芸術文化交流センター等でステージイベントや海をテーマとするワークショップ、ブース出展等を行います。

(3) その他のキャンペーン 102,000千円

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課
043-223-3942

家庭向け脱炭素化促進事業【一部新規】

予算額 527,000千円 (R5 418,000千円)

1 事業の目的・概要

家庭におけるCO₂排出量削減や災害時における電源の確保を図るため、住宅用省エネ設備、電気自動車・充電関連設備、リース等による太陽光発電設備や、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の導入促進について助成を行います。

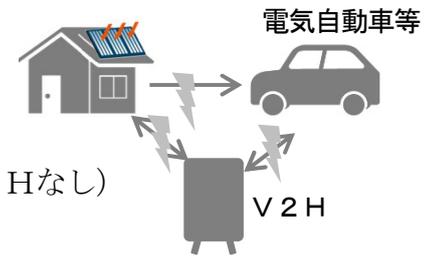
2 事業内容

(1) 住宅用設備等脱炭素化促進事業 407,000千円

県補助金を活用し、市町村が脱炭素化に向けた設備等を導入する住民の方や集合住宅の管理組合等に補助金を交付します（市町村により補助対象設備は異なります。）。

[補助対象設備]

- ・燃料電池（エネファーム） 定額10万円
- ・家庭用蓄電池 定額7万円
- ・窓の断熱改修 補助率1/4（上限8万円）
- ・電気自動車等 定額15万円（V2Hあり）10万円（V2Hなし）
- ・V2H充放電設備 補助率1/10（上限25万円）
- ・集合住宅向け電気自動車等充電設備



- 充電設備（住民のみ利用） 国補助の1/3（上限50万円）
（住民以外も利用）国補助の2/3（上限100万円）
- 住民の合意形成のための資料作成費 補助率2/3（上限10万円）

(2) 住宅用太陽光発電設備等に係るリース等導入促進事業【新規】 70,000千円

初期費用ゼロで太陽光発電設備の導入ができるリース等への補助により、家庭における脱炭素を促進します。

[補助対象者] 県で登録を行ったリース事業者等

[補助対象設備] 太陽光発電設備・蓄電池をセットで導入の場合

※県内の住宅への設置に限る、原則自家消費

[補助額（定額）] 太陽光発電設備5万円/kW 蓄電池12万円/台

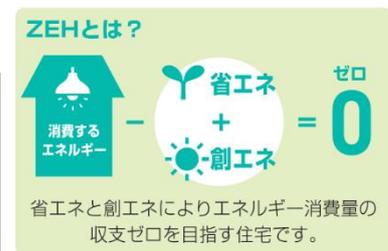


(3) ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）導入促進事業【新規】 50,000千円

中小工務店でのZEH施工を後押しするため、県内の中小工務店が施工したZEHを取得する県民の方々に補助を行います。

[補助対象となる住宅・補助額]

区分	補助額（定額）	上限額
ZEH	100万円	施工に要した経費
ZEH+		
ZEH Oriented	50万円	



※ZEH+は、ZEHに比べ消費エネルギーが少ないなど、より高い基準の住宅、ZEH Orientedは、都市部狭小地などで創エネの導入が困難な住宅になります。

担当課・問い合わせ先
環境生活部温暖化対策推進課
043-223-4562

事業者向け脱炭素化促進事業【一部新規】

予算額 1,140,000千円 (R5 565,000千円)

1 事業の目的・概要

本県の産業部門等におけるカーボンニュートラルに向けた取組を推進するため、省エネ設備や設備の効果的な運用を可能にするシステムの導入補助、脱炭素化に特化した相談支援などを行います。

2 主な事業

(1) 業務用設備等脱炭素化促進事業 1,035,000千円

県内で事業を行う中小事業者等が、省エネ診断を受診するなどして、省エネ等に資する設備を導入する場合において、その費用の一部を助成します。

[補助対象] 県内で事業を行う中小事業者等で、「CO2C02スマート宣言事業所登録制度」に登録する者

[対象経費] ①省エネ診断の受診費用

②省エネ等に資する設備の導入費用（太陽光発電設備は対象外）

[補助率等] ①省エネ診断に基づく事業等：1/2（補助上限額：1,000万円）

②簡易自己診断に基づく事業：1/4（補助上限額：500万円）

[補助対象設備の例]



蓄電池



LED照明器具



高効率空調設備



省エネ型自然冷媒機器

(2) 中小事業者等向けスマート省エネ技術導入促進事業【新規】 40,000千円

エネルギー使用状況の見える化と設備の自動制御を可能にし、省エネ化及びコスト削減に資するEMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入する場合において、その費用の一部を助成します。

[補助対象] 県内で事業を行う中小事業者等で、「CO2C02スマート宣言事業所登録制度」に登録する者

[対象経費] EMSの購入・設置工事に要する経費

[補助率等] 1/3（補助上限額：1,000万円）

(3) 中小事業者等向け脱炭素化（伴走型）相談支援事業【新規】 30,000千円

事業所における脱炭素化に向けた取組のアドバイスやエネルギーコスト削減の提案、各種補助金の案内を、対面や現地訪問により伴走型で実施するとともに、省エネ・再エネやZEBなどのセミナーを開催し、カーボンニュートラル関係全般の普及啓発を行います。

担当課・問い合わせ先
環境生活部温暖化対策推進課
043-223-4562

仮想空間を活用した地球温暖化対策普及啓発事業【新規】

予算額 25,000千円

1 事業の目的・概要

カーボンニュートラルの生活やまちづくりを体験できる仮想空間を開発し、こどもたちを中心に遊びの要素を取り入れながら、地球温暖化対策の普及啓発を図ります。

2 事業内容

○仮想空間の開発

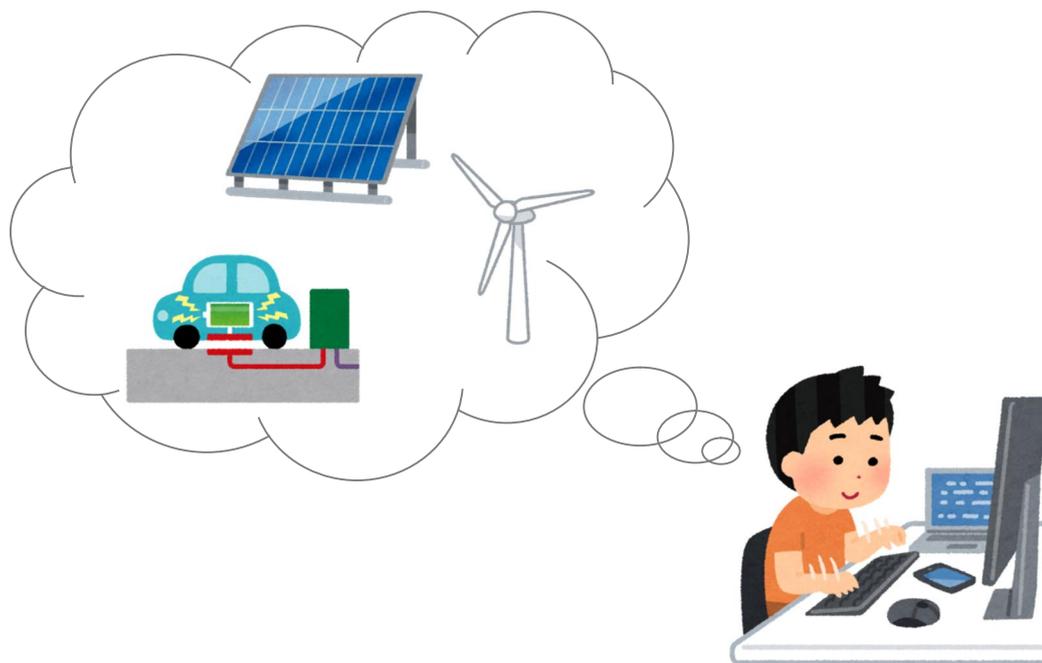
ソーラーパネルや省エネ設備の導入といった身近な取組から、新技術の社会実装という将来的なテーマまで、様々なカーボンニュートラルの取組について、CO₂排出量の削減効果や、取組を経て未来のまちの姿がどのように変わっていくかなど、体験しながら分かりやすく理解できる仮想空間を開発します。

(体験例)

ソーラーパネルの設置、LEDへの交換、建物の壁面緑化や植林、資源リサイクル

○普及啓発の実施

開発したソフトを活用し、将来を担うこどもたちをはじめ幅広い方が、地球温暖化対策に興味関心を持ち、実際に取り組んでいただけるよう、教育現場で活用するとともに、県ホームページからダウンロード可能とすることで、教育現場以外でも利用できるようにします。



担当課・問い合わせ先
環境生活部温暖化対策推進課
043-223-4562

特定外来水生植物対策事業

予算額 742,613千円 (R5 374,316千円)

1 事業の目的・概要

ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの特定外来水生植物が、県内の湖沼、河川等において生息域を拡大しており、水質の悪化や生態系、農業・漁業への影響が懸念されることから、県内全域の分布域を調査し、具体的な防除対策の検討を行います。また、市町村や土地改良区等と連携して、県内全域での駆除体制を強化するとともに、河川や湖沼など県管理水域における駆除を実施します。

2 事業内容

- (1) ナガエツルノゲイトウの分布域の調査 54,685 千円 (外来種特別対策事業の一部)
県内全域におけるナガエツルノゲイトウの分布域を調査し、防除の基礎資料にするとともに、分布図を作成して公開します。また、ナガエツルノゲイトウの生態、外見や適切な防除方法等について、幅広い層の県民に正しく理解していただくため、普及啓発を推進します。
- (2) 農業水路における外来水生植物特別対策事業【一部新規】 60,000 千円
用排水機場の取水口に大量に流れ着き、ポンプの動作不良等の被害が確認されていることから、用排水施設の管理者である市町村や土地改良区のほか、新たに、地域の水路等を保全管理する農業者等の組織が防除対策に取り組む経費を支援します。
- (3) 河川における外来水生植物対策事業 273,500 千円
県管理河川について、印旛放水路など新たに繁茂が確認された箇所や、栗山川など再繁茂が確認された箇所の駆除を実施します。
- (4) 湖沼における外来水生植物対策事業 354,428 千円
印旛沼及び手賀沼とその流域河川において、継続的なモニタリング体制への移行に向けて、残る箇所の駆除を進めます。また、市民団体が自主的に取り組む駆除活動に要する経費を支援します。



ナガエツルノゲイトウ



オオバナミズキンバイ



担当課・問い合わせ先

(1) 環境生活部自然保護課	0 4 3 - 2 6 5 - 3 6 0 1
(2) 農林水産部 耕地課	0 4 3 - 2 2 3 - 2 8 6 0
農地・農村振興課	0 4 3 - 2 2 3 - 2 8 6 1
(3) 県土整備部河川環境課	0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 5 4
(4) 環境生活部水質保全課	0 4 3 - 2 2 3 - 3 8 1 4

衛星画像を活用した不適正埋立て監視事業【新規】

予算額 30,000千円

1 事業の目的・概要

残土等の不適正な埋め立てによる崩落事故を防止するため、衛星画像を活用して盛土等で地形の改変の疑いのある個所を抽出し、速やかな是正措置につなげます。

2 事業内容

衛星画像を活用した不適正埋立て監視事業 30,000千円

衛星画像を活用して、許可事業場や盛土等地形の改変の疑いのある個所（違法盛土）を抽出し、崩落等危険が発生する前に、速やかに是正を行う体制を整備するとともに、衛星画像を活用することを周知し、不適正な土砂等の埋立て行為を抑止します。

[①違法盛土の確認] 二時期の衛星画像を比較し、土地の地形の改変箇所を判定します。

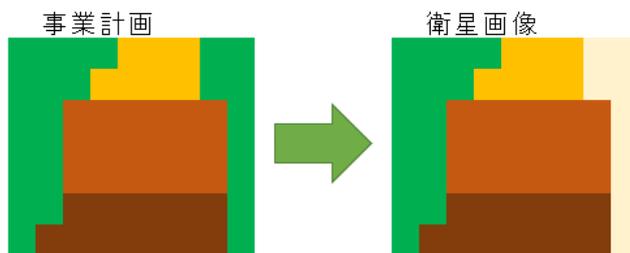


(出典：国土交通省)

[②許可事業場の確認]

森林が伐採された場合等、計画と異なる施工箇所を衛星画像により解析します。解析の結果、不適正施工のおそれがある場合、速やかに現地確認を行い、不適正な場合には是正指導します。

<イメージ>



衛星画像を確認した結果、
残置森林（）が変化（）しているため、
現地確認を行い、不適正な盛土を早期に把握する。

無届搬入など悪質な行為が行われると、是正に多額の費用を要し、県民の安全が確保されない事態となる恐れがあるため、衛星画像を活用することで、早期発見を行い、抜き打ちで立入検査を行うなど是正対策を強化します。

担当課・問い合わせ先
環境生活部ヤード・残土対策課
043-223-3799

千葉県誕生150周年記念事業の開催

予算額 173,800千円 (R5 467,000千円)

1 事業の目的・概要

令和5年は、千葉県が設置されてから150年の節目の年となることから、令和5年6月から令和6年6月までの1年間に渡って、記念事業を実施します。本県ならではの多様な文化資源や魅力を発信するとともに、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、県全域で記念事業を展開します。

2 事業内容

(1) 記念事業の開催（市町村）145,000千円

県内市町村が企画・実施する記念イベントに対し、補助金を交付します。

[補助割合] 補助対象経費の1/2以内

[補助上限] 人口5万人以上の市 10,000千円

人口5万人未満の市町村 5,000千円

※千葉の自然環境や「ちば文化資産」を活用する取組、複数団体による広域的な取組には加算を行います。

[主なイベント（予定）]

- ・百年後芸術祭（内房総5市（市原市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市）、佐倉市、山武市、栄町、白子町）
- ・ほくそう春まつり2024（印西市、白井市）
- ・安房道の駅広域連携事業（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）



千葉県誕生150周年記念
ロゴマーク

(2) 県による事業全体の統括 28,800千円

交通広告やPRグッズの作成等の広報を展開するとともに、県全体の統一感を形成するため、テーマ・コンセプトの管理、市町村へのアドバイス等を行います。

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課
043-223-3942

「ちば文化」創造・継承事業【新規】

予算額 20,000千円

1 事業の目的・概要

本県ならではの多様で豊かな自然環境・都市機能を取り入れた新たな文化活動や、県民参加により選定した「ちば文化資産」を活用した事業の開催にかかる経費の一部について助成し、本県の文化の向上と地域の魅力発信、地域活性化を図ります。

2 事業内容

(1) 未来に向けた「ちば文化」活性化補助金 15,000千円

県内市町村が企画・実施する千葉ならではの豊かな自然環境や都市機能を取り入れた、芸術祭等の新たな文化活動に対し、補助金を交付します。

[補助率等] 補助対象経費の1/2以内（上限1,000千円）

- [補助要件]・千葉ならではの豊かな自然環境や都市機能を取り入れた事業
- ・SDGsにつながる取組等を取り入れることで、未来を見据えた持続可能な社会基盤づくりに資する活動として認められるもの

(2) ちば文化資産活用事業補助金 5,000千円

民間企業・団体が「ちば文化資産」を活用し、新たな要素を取り入れた本県の文化的魅力のPRにつながる事業を展開するため、補助金を交付します。

[補助率等] 補助対象経費の1/2以内（上限1,000千円）

[補助要件]・ちば文化資産を活用したお祭りや伝統芸能

- ・SDGsにつながる取組等を取り入れることで、未来を見据えた持続可能な社会基盤づくりに資する活動として認められるもの

※ちば文化資産

県内の文化資産のうち、県民参加により選定した、多様で豊かなちば文化の魅力の特徴づけるモノやコトとします。伝統的なものに限定せず、現代建築や景観等、千葉県の文化的魅力を発信するものも含まれており、現在150件が選定されています。



担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課
043-223-3942

軽音ちば事業【一部新規】

予算額 5,415千円 (R5 3,950千円)

1 事業の目的・概要

若者を中心に人気のある軽音楽について、近年、様々な音楽イベントが県内で開催されるようになり、県民が親しむ機会が身近になってきたことを踏まえ、こうした機会を活用し、本県の文化の1つとして振興を図ります。

2 事業内容

(1) 「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」関連事業 4,415千円

令和4年度から千葉県で開催されている国内最大の野外音楽イベントについて、県内の若者が出演できる場を設けるオーディションや舞台裏を見学できるバックヤードツアーを実施します。

(2) 高等学校軽音楽コンテスト【新規】 1,000千円

軽音楽は高校生の部活動としても多く取り組まれていることから、全国軽音楽コンテスト決勝千葉県大会等を県立文化会館で開催することで、高校生に、音の良さと有観客のステージで演奏することの魅力を感じていただき、若い世代の軽音楽文化の普及振興を図ります。



担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局文化振興課
043-223-3942

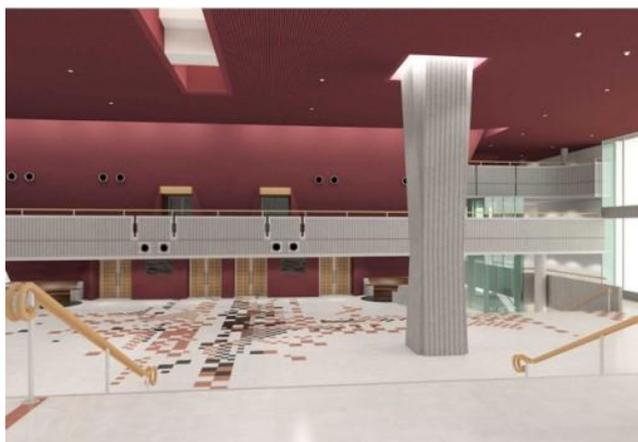
千葉県文化会館リニューアルオープン事業【新規】

予算額 2,012 千円

(債務負担行為 20,000千円)

1 事業の目的・概要

本県の文化芸術振興の拠点施設である千葉県文化会館のリニューアルオープンを機に、文化芸術振興への機運を一層盛り上げるため、令和7年度にリニューアル記念事業を開催します。



リニューアル後の大ホールホワイエのイメージ

2 事業内容

リニューアル記念事業として、本県唯一のプロオーケストラである千葉交響楽団と県内の芸術団体による県民参加型のコンサートを令和7年度に開催します。

なお、令和6年度は、「ちば」の文化芸術発信事業で実施する千葉・県民音楽祭をプレイベントとして位置付け、千葉交響楽団と楽器演奏者・障害者団体・合唱団体・ダンス団体等によるコラボレーションコンサートを、東総文化会館又は南総文化ホールにおいて実施します。



担当課・問い合わせ先

環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

043-223-3942

千葉県立美術館開館50周年記念事業

予算額 85,000千円

1 事業の目的・概要

県立美術館が開館 50 周年を迎えることを記念し、所有しているコレクションの魅力を発信するとともに、新しいアートとの出会いの場を提供する特別展等を実施します。

2 事業内容

(1) 記念事業の開催

○記念式典の開催 3,250 千円

開館 50 周年を記念するイベントとして、式典やシンポジウムを開催します。

○記念誌の作成 6,720 千円

約 2,800 点を誇る房総ゆかりの近代美術コレクションの中から選定し、ベストコレクション等の刊行を行い、50 年の蓄積であるコレクションの魅力を発信します。

○美術館の魅力発信 7,675 千円

千葉みなと活性化協議会等と連携し、地域全体に 50 周年を迎える美術館の魅力を広く発信し、地域の賑わいの中心としての美術館の存在価値を高めます。

(2) 特別展

○井田幸昌 作品展（仮称） 4,355 千円

地域で活動する企業と連携した、若手アーティストの活動を紹介する展覧会。

○五十嵐靖晃 PROJECT UMINOUE（仮称） 38,000 千円

千葉みなとエリアを舞台に地域と協働したプロジェクト等を展開し、海をテーマとした空間芸術などによる回遊型の展覧会。

○浅井忠 展（仮称） 25,000 千円

開館以来、最も重要な作家として作品収集と展示紹介に努めてきた、近代洋画の先駆者の展覧会。



県立美術館 外観



県立美術館 展示室



浅井忠 「フォンテンブローの夕景」

担当課・問い合わせ先

環境生活部スポーツ・文化局文化振興課

043-223-3942

ちばアクアラインマラソン開催事業

予算額 142,900千円 (R5 49,000千円)

1 事業の目的・概要

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力を発信するため、6回目の大会となる「ちばアクアラインマラソン2024」を開催します。

2 事業内容

(1) 開催日時 令和6年11月10日(日) 午前9時45分から午後4時まで

(2) 種目等

種目	定員	制限時間
マラソン (42.195km)	12,000人	6時間10分 (スタート号砲から)
ハーフマラソン (21.0975km)	両種目併せて 5,000人	3時間20分 (スタート号砲から)
車いすハーフマラソン (21.0975km)	※車いすハーフマラソンは 10人程度とする。	1時間10分 (スタート号砲から)

(3) ランナー募集

- ・「一般枠」 令和6年3月22日(金) 正午～5月9日(木) 午後5時
- ・「特別枠」 詳細は募集要項(第23回総会 ※2月開催予定)で発表します。

(4) その他

大会コンセプトの一つである「千葉県の魅力発信」として、大会当日を含む各種イベントの実施を予定しております。

※イベントの実施については、今後、詳細等が決まり次第、大会公式ホームページ等にて、随時発表いたします。

担当課・問い合わせ先
環境生活部スポーツ・文化局
生涯スポーツ振興課
043-223-2434

《コースマップ》

